



細
 糸
 下
 糸
 下
 糸
 下



文曜文庫

讀本堂

きんごうは春の事三月の事あり
とらふにまじりてあまのくちあま
そやあらばおぼやうらふにまじりて
あまのくちあり

院の出来ぬ 大徳院に

しつりり三月の事あり

三月の事あり 母后の事あり三月の事あり
あるにまじりて三月の事あり
治承五年三月の事あり

たつあきらまの事あり 仍後為難の事あり
十三年の事あり 信正の事あり
あまのくちあり

この院 ちまけに信正の事あり
あり

たまたお ちまけの事あり
あまのくちあり

まけの事あり

ちまけの事あり

Handwritten text in cursive script, first line on the left page.

Handwritten text in cursive script, second line on the left page.

Handwritten text in cursive script, spanning the right page.

このころの事である

このころの事である (1) 1868年1月1日

このころの事である (2) 1868年1月1日

このころの事である (3) 1868年1月1日

このころの事である (4) 1868年1月1日

このころの事である

このころの事である (5) 1868年1月1日

このころの事である (6) 1868年1月1日

このころの事である

このころの事である (7) 1868年1月1日

このころの事である (8) 1868年1月1日

たぢおらけらるゝ言はしありき

清のまはし 義孝公の世にけらるゝのえと

清の母世に

いふあるはくは 宮本伝を贈る

立身せむ ありの中を

清の世に 4はるゝの世に

とほくらわくありきと

らるゝありきと

とあるといの院と

いふらう出雲と

いふとありと

いふ

いふらうと

いふらうと

いふらうと

いふらうと

いふらうと

いふらうと

高きと低き

山ありと谷あり ちんちんの着るよふとくちんちん
ありとあり

まゝまゝ まゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ
まゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ

まゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ
まゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ
まゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ

まゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ
まゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ
まゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ

まゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ
まゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ
まゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ

まゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ
まゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ
まゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ

まゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ
まゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ
まゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ

まゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ
まゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ
まゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ

まゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝまゝ

1852年1月1日
1852年1月1日

1852年1月1日

1852年1月1日

1852年1月1日

1852年1月1日

1852年1月1日

1852年1月1日

1852年1月1日

1852年1月1日

1852年1月1日

1852年1月1日

1852年1月1日

1852年1月1日

1852年1月1日

1852年1月1日

1852年1月1日

1852年1月1日

いふはふらふらいぬん今年もさうさうのちう
九人の年まけにさうさうのちう中さうい
りあつとにさういひらさういひら

もあつとさういひらさういひら
あつとさういひらさういひら
あつとさういひらさういひら

あつとさういひらさういひら
あつとさういひらさういひら
あつとさういひらさういひら

いあする由いあするいあする

あつとさういひらさういひら

二月一奉本白とある言に（ジジジジジキキキキキ）神今食潔斎の目ら

さう又十一月に此下の行に五奉共いひ

あつとさういひらさういひら

あつとさういひらさういひら

評するに

たいさういひらさういひら
流のちあつとさういひらさういひら

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 12 lines of cursive writing.

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 12 lines of cursive writing.

Handwritten text in a cursive script, likely a personal letter or diary entry. The text is written in a fluid, connected style across several lines.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a fluid, connected style across several lines.

伊の目録

一 伊の目録

一 伊の目録

一 伊の目録

一 伊の目録

一 伊の目録

白梅あるとく

一 伊の目録

一 伊の目録

一 伊の目録

一 伊の目録

一 伊の目録

一 伊の目録

一 伊の目録

一

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

ふねいんていしをいんていし

ていし

るいんていしをいんていし

をいんていしをいんていし

をいんていしをいんていし

をいんていしをいんていし

をいんていしをいんていし

をいんていしをいんていし

をいんていしをいんていし

ていし

ていしをいんていし

をいんていしをいんていし

ていし

をいんていしをいんていし

ていし

をいんていしをいんていし

をいんていしをいんていし

をいんていしをいんていし

Handwritten cursive text, first line on the left page.

Handwritten cursive text, second line on the left page.

Handwritten cursive text, third line on the left page.

Handwritten cursive text, fourth line on the left page.

Handwritten cursive text, fifth line on the left page.

Handwritten cursive text, sixth line on the left page.

Handwritten cursive text, seventh line on the left page.

Handwritten cursive text, eighth line on the left page.

Handwritten cursive text, ninth line on the left page.

Handwritten cursive text, first line on the right page.

Handwritten cursive text, second line on the right page.

Handwritten cursive text, third line on the right page.

Handwritten cursive text, fourth line on the right page.

Handwritten cursive text, fifth line on the right page.

Handwritten cursive text, sixth line on the right page.

Handwritten cursive text, seventh line on the right page.

Handwritten cursive text, eighth line on the right page.

Handwritten cursive text, ninth line on the right page.

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes, spanning the left page of the notebook. The text is written in dark ink on aged paper and includes several lines of illegible characters.

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes, spanning the right page of the notebook. The text is written in dark ink on aged paper and includes several lines of illegible characters.

4. 1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10.

11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20.

21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30.

31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40.

41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50.

51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60.

61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70.

71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80.

81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90.

91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100.

101. 102. 103. 104. 105. 106. 107. 108. 109. 110.

111. 112. 113. 114. 115. 116. 117. 118. 119. 120.

121. 122. 123. 124. 125. 126. 127. 128. 129. 130.

131. 132. 133. 134. 135. 136. 137. 138. 139. 140.

141. 142. 143. 144. 145. 146. 147. 148. 149. 150.

151. 152. 153. 154. 155. 156. 157. 158. 159. 160.

161. 162. 163. 164. 165. 166. 167. 168. 169. 170.

171. 172. 173. 174. 175. 176. 177. 178. 179. 180.

181. 182. 183. 184. 185. 186. 187. 188. 189. 190.

191. 192. 193. 194. 195. 196. 197. 198. 199. 200.

201. 202. 203. 204. 205. 206. 207. 208. 209. 210.

211. 212. 213. 214. 215. 216. 217. 218. 219. 220.

221. 222. 223. 224. 225. 226. 227. 228. 229. 230.

231. 232. 233. 234. 235. 236. 237. 238. 239. 240.

241. 242. 243. 244. 245. 246. 247. 248. 249. 250.

251. 252. 253. 254. 255. 256. 257. 258. 259. 260.

261. 262. 263. 264. 265. 266. 267. 268. 269. 270.

271. 272. 273. 274. 275. 276. 277. 278. 279. 280.

281. 282. 283. 284. 285. 286. 287. 288. 289. 290.

291. 292. 293. 294. 295. 296. 297. 298. 299. 300.

おはらからうらやまの
おはらからうらやまの
おはらからうらやまの
おはらからうらやまの
おはらからうらやまの

おはら

おはら

おはら

おはら

おはら

おはら

おはら

おはら

おはら

おはら

おはら

おはら

おはら

おはら

おはら

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

あまのこゝろ

ナヤウロウソク

ヨリ

ナヤウロウソク

下は山を越へて

山を越へては

山を越へては

山を越へては

山を越へては

山を越へては

山を越へては

山を越へては

山を越へては

山を越へては

山を越へては

山を越へては

山を越へては

山を越へては

山を越へては

山を越へては

山を越へては

山を越へては

Handwritten text in cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in cursive script, likely a name or title.

Handwritten text in cursive script, likely a name or title.

あまのこ

あまのこ

あまのこ

あまのこ

あまのこ

あまのこ

あまのこ

あまのこ

あまのこ

あまのこ

あまのこ

あまのこ

あまのこ

あまのこ

あまのこ

あまのこ

あまのこ

あまのこ

Handwritten text in a cursive script, likely a list or account. The text is written on the left page of an open notebook. It consists of several lines of text, including the word "NINE" and various numbers and symbols.

Handwritten text in a cursive script, likely a list or account. The text is written on the right page of an open notebook. It consists of several lines of text, including the word "NINE" and various numbers and symbols.

花のうらみ

あはれなる花のうらみ

あはれなる花のうらみ

あはれなる花のうらみ

あはれなる花のうらみ

あはれなる花のうらみ

あはれなる花のうらみ

あはれなる花のうらみ

あはれなる花のうらみ

あはれなる花のうらみ

カクシキニシテカクシキニ

カクシキニシテカクシキニ

カクシキニシテカクシキニ

カクシキニシテカクシキニ

カクシキニシテカクシキニ

カクシキニシテカクシキニ

カクシキニシテカクシキニ

カクシキニシテカクシキニ

カクシキニシテカクシキニ

カクシキニシテカクシキニ

カクシキニシテカクシキニ

カクシキニシテカクシキニ

カクシキニシテカクシキニ

カクシキニシテカクシキニ

カクシキニシテカクシキニ

カクシキニシテカクシキニ

カクシキニシテカクシキニ

カクシキニシテカクシキニ

あつたてのていどにさうして

まゝに、昔乃於一切の事

だつた、今とちがひに

さうして、さうして

さうして、さうして

さうして

あつたてのていどにさうして

あつたてのていどにさうして

あつたてのていどに

あつたてのていどに

あつたてのていどに

あつたてのていどに

あつたてのていどに

あつたてのていどに

あつたてのていどに

あつたてのていどに

あつたてのていどに

あつたてのていどに

九月に母を流母后の世にあり

五のしのおかたの世ありの世ありの世あり

かしの世ありの世ありの世ありの世あり

とにいしてあり

まららるゝ世に字ありの世あり

流の世あり

世ありの世あり

月ころの世ありの世ありの世あり

うららるゝ世ありの世ありの世あり

世ありの世ありの世ありの世あり

二世流母の世ありの世ありの世あり

世ありの世あり

うの世にありの世ありの世あり

世ありの世あり

らるゝ世にありの世ありの世あり

まららるゝ世にありの世ありの世あり

かしの世ありの世ありの世あり

たの世ありの世ありの世あり

Handwritten text on the left page, consisting of several lines of cursive script.

Handwritten text on the right page, consisting of several lines of cursive script.

あつちのくにへいせふ

あつちのくにへいせふ

あつちのくにへいせふ

あつちのくにへいせふ

あつちのくにへいせふ

あつちのくにへいせふ

あつちのくにへいせふ

あつちのくにへいせふ

あつちのくにへいせふ

あつちのくにへいせふ

あつちのくにへいせふ

あつちのくにへいせふ

あつちのくにへいせふ

あつちのくにへいせふ

あつちのくにへいせふ

あつちのくにへいせふ

あつちのくにへいせふ

あつちのくにへいせふ

いかんかゝいれいしんかしのいりゆ
 さい甲子のこいすまの母に
 くらあきあうりくさま痛おき
 さいふのこあくわらふ文のりま
 ちくちくい
 さいあたらけり漢のいりこま
 ちうちうふくふくふくあにいり
 さいく日くい
 女々の女に女いりの女の大女をあるゆり

中津瀬のありし

中津寺うのこすい中ヶ寺に
 ちりちりいれい仁和寺に

ちりちりいれいけ結ケウ語ゴこらいつくの流れ有諸
抄しりていりる前前或或は後漢書後漢書造造氏氏傳傳
韓康傳韓是韓伯林那韓ころる那の字
 同んとういし本流本流け地地い香香徳徳とけりうと
 ちりちりいれいけ造造まま造造ままありあわのけり
 こあきいれいりるあやふいありいれい

たいくしーまのりう

きしほくさくしほくしほくさくさくさくさく

つえろーまのり

ぶくしあくく 十年 三軍 野中言天を云

年に幾らうのみ病註の所十二神のふら

軍田羅こころまことくらくれにまの

しうま入まのりあ

れいのりおのりまのりまのりまのりまのり

たふし十たわふのりまのりまのりまのり

あまのりあまのりあまのりあまのり

かまのりあまのりあまのりあまのり

てあまのりあまのり

まのりあまのりあまのりあまのり

あまのりあまのりあまのりあまのり

あまのりあまのりあまのり

あまのりあまのり

あまのりあまのり 一念を切

あまのりあまのりあまのりあまのりあまのり

しむとあむと

けんり〜
はぢり〜

く〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

〜

あまのこ 何れ、ねえ

あふ、あふ、あふ、あふ

あふ、あふ、あふ、あふ

あふ、あふ、あふ、あふ

あふ、あふ、あふ、あふ

あふ、あふ、あふ、あふ

あふ、あふ、あふ、あふ

あふ、あふ、あふ、あふ

あふ、あふ、あふ、あふ

あふ、あふ、あふ、あふ

あふ、あふ、あふ、あふ

あふ、あふ、あふ、あふ

あふ、あふ、あふ、あふ

あふ、あふ、あふ、あふ

あふ、あふ、あふ、あふ

あふ、あふ、あふ、あふ

あふ、あふ、あふ、あふ

あふ、あふ、あふ、あふ

あふ、あふ、あふ、あふ

あつちのうらなひに
あつちのうらなひに

あつちのうらなひに
あつちのうらなひに

あつちのうらなひに
あつちのうらなひに

あつちのうらなひに
あつちのうらなひに

あつちのうらなひに
あつちのうらなひに

あつちのうらなひに
あつちのうらなひに

あつちのうらなひに
あつちのうらなひに

あつちのうらなひに
あつちのうらなひに

あつちのうらなひに
あつちのうらなひに

あつちのうらなひに
あつちのうらなひに

きしきしきん ちあちあ

あしきしきん ちあちあ

あしきしきん ちあちあ

あしきしきん ちあちあ

あしきしきん ちあちあ

あしきしきん ちあちあ

あしきしきん ちあちあ

あしきしきん ちあちあ

あしきしきん ちあちあ

あしきしきん ちあちあ

あしきしきん ちあちあ

あしきしきん ちあちあ

あしきしきん ちあちあ

あしきしきん ちあちあ

あしきしきん ちあちあ

あしきしきん ちあちあ

あしきしきん ちあちあ

あしきしきん ちあちあ

あつらひからかへり
あつらひからかへり
あつらひからかへり
あつらひからかへり
あつらひからかへり
あつらひからかへり
あつらひからかへり
あつらひからかへり

あつらひからかへり

あつらひからかへり
あつらひからかへり
あつらひからかへり
あつらひからかへり
あつらひからかへり
あつらひからかへり
あつらひからかへり
あつらひからかへり

あつらひからかへり

あつらひからかへり

あつらひからかへり

あつらひからかへり

あつらひからかへり

あつらひからかへり

あつらひからかへり

あつらひからかへり

あつらひからかへり

古ちちめはりのこはわん
めちちにしてちちめはりに

うららかにておはるるもまはりにておはるる

らうららかにておはるるもまはりにておはるる

ちちめはりにておはるるもまはりにておはるる

おまはりにておはるるもまはりにておはるる

のちちめはりに

おまはりにておはるるもまはりにておはるる

はららかにておはるる

はららかにておはるるもまはりにておはるる

おまはりにておはるるもまはりにておはるる

らうららかにておはるるもまはりにておはるる

ちちめはりにておはるるもまはりにておはるる

おまはりにておはるるもまはりにておはるる

らうららかにておはるるもまはりにておはるる

天文二年九月十日

五のちちめはりにておはるる

下とちちめはりにておはるる

あるべきものを、
おぼえしむるは、
はるかのまじり

えあふまじり
はるかのまじり

まじりたるまじり
まじりたるまじり
まじりたるまじり
まじりたるまじり

まじりたるまじり
まじりたるまじり
まじりたるまじり
まじりたるまじり
まじりたるまじり
まじりたるまじり

まじりたるまじり

まじりたるまじり
まじりたるまじり
まじりたるまじり

まじりたるまじり
まじりたるまじり
まじりたるまじり

まじりたるまじり
まじりたるまじり
まじりたるまじり

まじりたるまじり
まじりたるまじり
まじりたるまじり

あつちうしやわつちうしん

まよひや眼のうら

あふふあふてらふらふらふらふら

あふふとほふふふふふ

あつちうしんあつちうしんあつちうしんあつちうしん

あつちうしんあつちうしんあつちうしんあつちうしん

あつちうしんあつちうしんあつちうしんあつちうしん

あつちうしんあつちうしんあつちうしんあつちうしん

あつちうしんあつちうしんあつちうしんあつちうしん

あつちうしんあつちうしんあつちうしんあつちうしん

あつちうしんあつちうしんあつちうしんあつちうしん

あつちうしんあつちうしんあつちうしんあつちうしん

あつちうしんあつちうしんあつちうしんあつちうしん

あつちうしんあつちうしんあつちうしんあつちうしん

あつちうしんあつちうしんあつちうしんあつちうしん

あつちうしんあつちうしんあつちうしんあつちうしん

あつちうしんあつちうしんあつちうしんあつちうしん

あつちうしんあつちうしんあつちうしんあつちうしん

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100

たのしくあはし たのめんとはた^らやあはれなる
あはれにありきうぬくのうらみ
あや名の あまのた

年のたかきさしやあはれにえあは
あまのた たらふのたのたあ
あはれにありきうぬくのうらみ

あまのた たらふのたのたあ
あはれにありきうぬくのうらみ
あまのた たらふのたのたあ
あはれにありきうぬくのうらみ

あまのた たらふのたのたあ
あはれにありきうぬくのうらみ
あまのた たらふのたのたあ
あはれにありきうぬくのうらみ
あまのた たらふのたのたあ
あはれにありきうぬくのうらみ
あまのた たらふのたのたあ
あはれにありきうぬくのうらみ

あはれとてはなれぬ心は
いかにぞおもひてはなれぬ

あはれとてはなれぬ心は
いかにぞおもひてはなれぬ

あはれとてはなれぬ心は
いかにぞおもひてはなれぬ

あはれとてはなれぬ心は
いかにぞおもひてはなれぬ

あはれとてはなれぬ心は
いかにぞおもひてはなれぬ

あはれとてはなれぬ心は
いかにぞおもひてはなれぬ

あはれとてはなれぬ心は
いかにぞおもひてはなれぬ

あはれとてはなれぬ心は
いかにぞおもひてはなれぬ

あはれとてはなれぬ心は
いかにぞおもひてはなれぬ

あはれとてはなれぬ心は
いかにぞおもひてはなれぬ

あはれとてはなれぬ心は
いかにぞおもひてはなれぬ

あはれとてはなれぬ心は
いかにぞおもひてはなれぬ

あはれとてはなれぬ心は
いかにぞおもひてはなれぬ

あはれとてはなれぬ心は
いかにぞおもひてはなれぬ

あはれとてはなれぬ心は
いかにぞおもひてはなれぬ

あはれとてはなれぬ心は
いかにぞおもひてはなれぬ

あはれとてはなれぬ心は
いかにぞおもひてはなれぬ

あつたてふて

三三三の山をたふさふとたふさふとたふさふとたふさふと

あつたてふてあつたてふてあつたてふてあつたてふて

あつたてふてあつたてふてあつたてふてあつたてふて

あつたてふてあつたてふてあつたてふてあつたてふて

あつたてふてあつたてふてあつたてふてあつたてふて

あつたてふてあつたてふてあつたてふてあつたてふて

あつたてふてあつたてふてあつたてふてあつたてふて

あつたてふてあつたてふてあつたてふてあつたてふて

あつたてふてあつたてふてあつたてふてあつたてふて

早くしきくくしたてありし
 うつこくうの世の所たに
 多しのをとへてさるるきふた
 ほう

のてさをてらるる

くらりくらりくらり



